

# 駅前 研修会

平成 17 年 7 月号

vol.14



【7月のテーマ】

I 「17年度高校入試問題の研究」

II 「ご家庭から大切にされる先生とは」

17年度の入試問題は先生方もご覧になったかと思います。その傾向を把握し、対策について意見交換しながら認識を深めることができればと思います。  
また、ご家庭とより良い関係を築くための工夫を考えてみましょう。

I 17年度入試の特色・分析	*****	1
過去5年間の出題傾向	*****	5
作文・短文記述の指導例	*****	10
受験生に知ってほしい傾向と対策	*****	12
II ご家庭から大切にされる先生とは	*****	15

皆様の中で、この「駅前研修会」の企画をやってみたいという方はいらっしゃいますか？もちろん社員が協力いたします。テーマを決めたり、資料を作ったりしてみませんか。「まず1回」でも構いません。希望者は社員まで。

## I 17年度高校入試問題の研究

### 1. 17年度入試の特色・分析

#### ①. 国語

- ・出題の形式や内容、大問ともに例年とほぼ同じであった。基礎的な国語力を重視するとともに表現力や理解力も必要とされる問題であった。
- ・第一問、第二問の長文問題では、本文を読んだ上で内容や心情をまとめながら問いに答えていくといった設問が多く見られた。人物の心情、筆者の考え方や感じ方をとらえ、それを的確に表現する力が大いに試されている。
- ・第五問の作文では、「思い出の食事」についての自分の思いを、自らの体験をふまえた上で、適切に表現する力が試された。

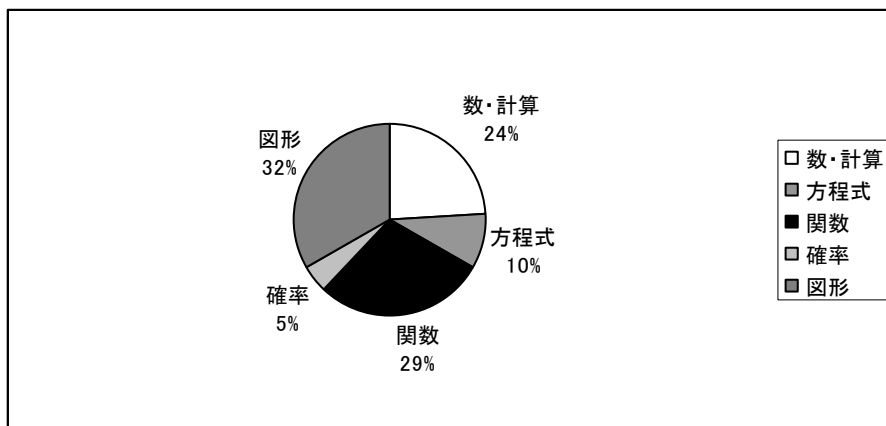
今回出題された「表現力」

第一問	登場人物の心情を読み取り、表現する力。
第二問	筆者の考えを読み取り、文章で表現する力。
第三問	話し合いの進め方、心構えをとらえて表現する力。
第五問	(作文) 体験に基づいて考えをまとめ、表現する力。

#### ②. 数学

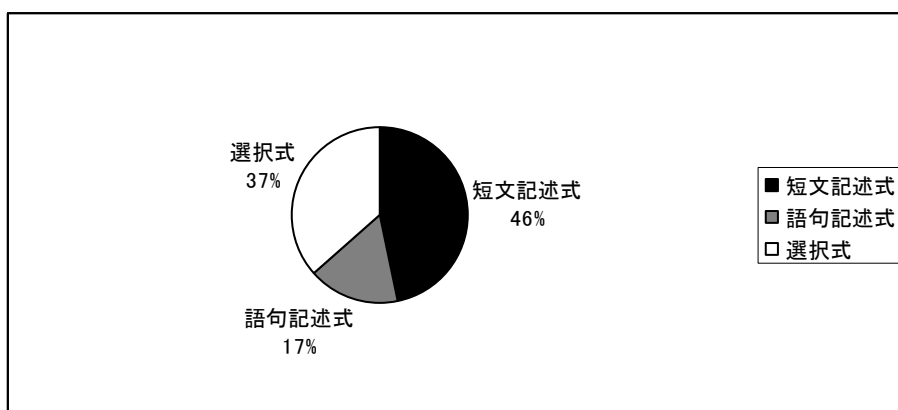
- ・昨年と同様に、今年度も第五問は選択問題であったが、ほぼ同じ領域から出題されていた。
- ・第一問では、数・式と一次関数に関する基本問題が出題され、基礎学力が評価された。
- ・第二問では、日常生活の出来事を題材にした方程式の問題、さいころの目に関する確立の問題、空間図形の見取り図と展開図の関係に関する問題が出題され、順序立てて考える力が評価された。
- ・第三問は、道のり・速さ・時間に関する一次関数の問題で、変化する2つの量の関係をとらえる力や、それをグラフで表現する能力などが評価された。
- ・第四問は、正方形を題材として、角の二等分線の作図方法や条件を満たす線分の長さを求める問題、2つの三角形が合同であることを証明する問題が出題され、作業力や論証力が評価された。
- ・第五問の選択Aでは、平方根の理解力を問う問題が1問、放物線のグラフ上の点の距離から比例定数を求める問題が1問、円とその接線の性質や中点連結定理、三平方の定理などを利用して解く問題が2問出題され、段階的に思考を進める力が評価された。選択Bで

は、選択Aよりやや難易度の高い問題が出題された。それぞれの問題の出題範囲はほぼ同様であるが、より高い思考力を問われる問題になっていた。特に3(2)の問題は、柔軟な思考力や直観力など総合的な学力を必要とする問題であった。



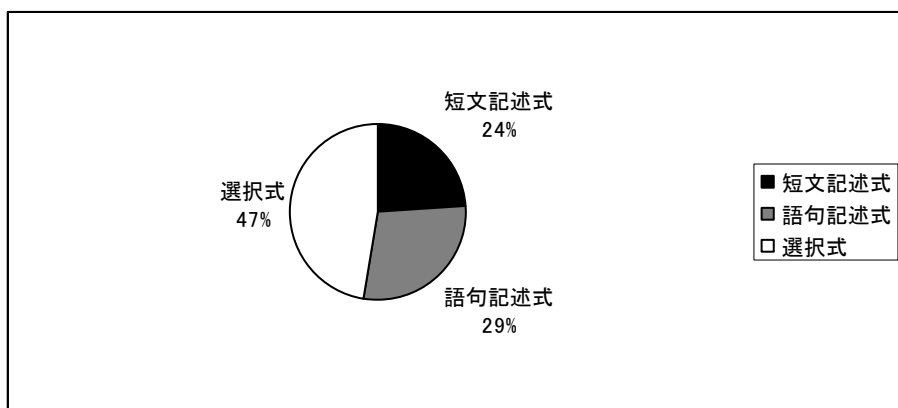
### ③. 社会

- ・さまざまな資料から社会的事象を読み取り、思考・判断・表現などの社会科の総合的な力を問うような問題が多く見られた。
- ・記述式の問題が全体の約3分の2をしめていた。そして、短文記述式の問題は、今年度は大きく増加して14問もあった。短文記述式が多いのが本件の入試の特色であるが、その傾向が顕著となった。
- ・資料の正確な読み取りや処理能力を問う問題が見られた。
- ・3分野の融合問題が大問で1つ出題され、社会科の総合的な理解力を見ようとしている。
- ・現代社会の動きに関心があるかという視点からの出題も見られた。
- ・社会の現状や課題に対して自分の考えを書かせる問題は今年も継続された。
- ・地理の作業学習の問題が今年も出された。



#### ④. 理科

- ・第一問は、化学・物理・地学の単元別の単発問題と環境問題に関する総合問題であった。
- ・第二問は、土の中にいる分解者のはたらきを調べる実験に関する問題と、メダカの刺激に対する反応について調べる実験に対する問題が出題された。
- ・第三問は、酸化銀の分解、酸化銅の還元の実験に関する問題と、水素・二酸化炭素・アンモニアを発生させる実験に関する問題が出題された。酸化銅の還元では、還元反応の化学反応式がそのまま全部問われた。
- ・第四問は、鉄球の運動に関するエネルギーの移り変わりに関する問題と、電流と発熱の実験に関する問題が出題された。なお、エネルギーの移り変わりの問題には、グラフの作成が含まれていた。
- ・第五問は、星空の観察に関する問題と、地震に関する問題であった。天体は地球の自転と星の動きに関する内容で、地震は地震データからの大小や、震源の位置などを推定させるものであった。
- ・論述形式の問題は10問であった。また、作図の問題は1問であった。



#### ⑤. 英語

「聞く」「話す」「読む」「書く」の4領域について、理解力、表現力、コミュニケーション能力を見る問題である。作文の問題が独立した大問として1つあったが今年度はなくなり、4問となった。また、小問数も若干減ったが、そのぶん思考力、読解力を問うなど総合的な内容であった。

##### ・リスニング

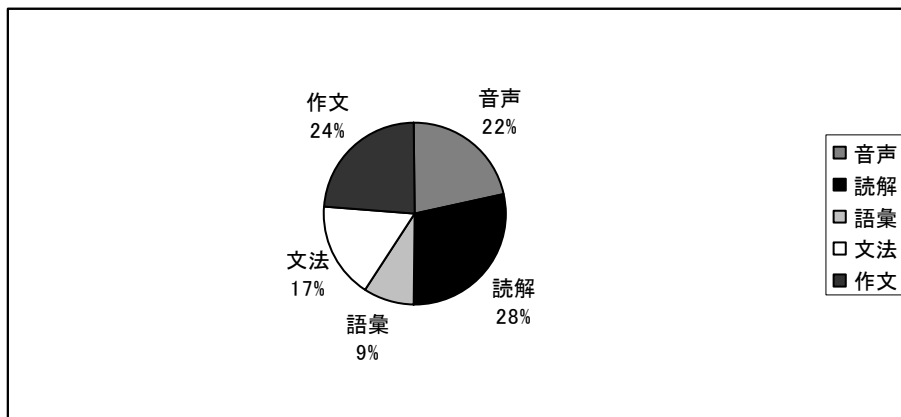
問題1は昨年と同じで、会話を聞いて、その内容に関する質問の答えにあった絵を選ぶ問題であった。問題2は新しい出題形式で、会話を聞いてその場面にあう言い方を選ぶ問題であった。問題3は英文から会話に変わっただけで、内容についての質問に選択と記述で答えるものであった。内容の理解と単語力が要求された。

・読解

文脈や会話の流れを抑えて解くことが大切。語句の内容、連語、慣用的表現、英文を書く力など基本的な英語力及び内容の理解が来ているかどうか試された。連語、会話における言い回しはいつでも使えるようにしておくことが大切である。

・選択問題

同一内容の会話による問題。A問題は選択と記述がほぼ半分で慣用的表現、整序作文、内容の理解など基本的な英語力が試された。B問題はすべて記述で、より発展的な出題で、英語を運用する力、表現する力、内容を日本語でまとめる力などが求められた。



## 2. 過去5年間の出題傾向

### 国語

年度		13	14	15	16	17	
平均点		54.6	57.4	54.4	54.7	52.7	
大問・小問数		5・31	5・30	5・30	5・29	5・29	
記述		(23)	(19)	(19)	(18)	(21)	
読む力	大意・要旨・主題	◎	◎	○	◎	◎	
	文章の内容吟味	◎	◎	◎	◎	◎	
	情景・心情の把握	◎	◎	◎	◎	◎	
	段落の構成				◎	◎	
	文脈の把握	○	◎	◎	◎	◎	
書く力	表現力	◎	◎	◎	◎	◎	
知識力	漢字と語句	漢字の読み取り	◎		◎	◎	◎
		漢字の書き取り	◎	◎	◎	◎	◎
	漢字の知識	◎	○	○		◎	
	文法	品詞・意味・用法	○	○			
	歴史的仮名遣い	◎					
	表現技法・その他	◎	◎	◎	◎		
出題の種類	小論文・随筆文	◎	◎	◎	◎	◎	
	論説文・説明文	◎	◎	◎	◎	◎	
	詩						
	短歌・俳句						
	古文	◎	◎	◎	◎	◎	
	作文	◎	◎	◎	◎	◎	
	その他	◎	◎	◎	◎	◎	

※○選択問題のみ出題された単元。◎記述の問題が含まれる場合。但し必ずしも短文記述式ではなく、選択式以外ということ。

## 数学

年度		13	14	15	16	17
平均点		43.5	45.2	51.3	A30.3 B47.8	A31.5 B51.6
大問・小問数		5・23	5・23	5・28	5・24	5・21
論述・作図		(3)	(4)	(3)	(3)	(4)
数 式	正負の数	○	○	○	○	○
	平方根	◎		○	○	○
	文字式の計算	○	○	○	◎	○
	因数分解	○	○		○	
	1次方程式	○	◎	◎	○	◎
	連立方程式		○			
	2次方程式	○	○	○	○	○
数 量	比例と反比例			○		
	1次関数	○	◎	◎	◎	◎
	2乗に比例する関数	◎	○		○	○
	確率	○	○	○	○	○
図 形	平面図形	○	◎			◎
	空間図形			○	○	○
	平行と合同		○		◎	◎
	図形の性質	○	◎	○	○	○
	相似な図形	◎	◎	◎	○	○
	三平方の定理	○	○	○	○	○

※○出題された単元。◎論述・作図の問題が出題に含まれる場合。

## 社会

年度		13	14	15	16	17
平均点		52.0	50.5	50.4	52.2	55.1
大問・小問数		5・34	5・30	5・32	5・31	5・30
記述		(17)	(15)	(19)	(17)	(19)
地理	世界のすがた・日本のすがた		◎	◎		○
	世界のさまざまな地域	◎	◎	◎	◎	◎
	身近な地域の調査					○
	日本の自然環境	○			◎	○
	日本の人口・産業・資源	◎	○	◎	◎	◎
	その他	○				◎
歴史	古代までの日本(平安時代まで)	○	◎	○	○	◎
	中世の日本(鎌倉から室町時代)	◎	○	◎	◎	
	近世の日本	◎		◎	◎	◎
	開国と近代日本の歩み	◎	◎	◎	○	◎
	二度の世界大戦と日本・現代の日本と世界	○	◎	◎	◎	◎
	各時代の特色		◎	○	○	○
	その他					
公民	現代社会とわたしたちの生活				○	◎
	人間の尊重と日本国憲法			◎	◎	◎
	現代の民主政治と生活	◎	○	◎	○	◎
	わたしたちの生活と経済	◎	◎	◎	◎	◎
	地球社会とわたしたち		◎	◎		
	その他	○	◎	◎	◎	◎

※○選択問題のみ出題された単元。◎記述の問題が含まれる場合。但し必ずしも短文記述式ではなく、選択式以外ということ。

理科

年度		13	14	15	16	17	
平均点		55.1	47.8	60.6	49.1	49.2	
大問・小問数		5・35	5・37	5・39	5・39	5・42	
記述		(18)	(21)	(20)	(20)	(22)	
1 分野	物理 の 領域	光と音、力と圧力	○	○	◎	◎	
		電流回路、電流と発熱	◎			◎	◎
		電流と磁界、電流と電子		◎			
		力、物体の運動と速さ	◎	◎		◎	
		仕事とエネルギー					◎
	科学 の 領域	水溶液と気体				○	◎
		状態変化と蒸留、熱量			◎	◎	○
		化学変化と原子・分子	◎	◎	◎	◎	
		電流が流れる水溶液					
		酸・アルカリ・塩	◎	○	○		◎
2 分野	生物 の 領域	呼吸と光合成、植物のからだのつくり	◎	○	◎		◎
		いろいろな植物のなかま			◎		
		動物のなかま				◎	
		動物のからだ(人体)	◎	◎			◎
		細胞、生殖と遺伝		◎	○	◎	
	生物界のつながり	○			○		
	地学 の 領域	地球と太陽系		◎		◎	○
		湿度、高気圧・低気圧	◎		◎		○
		天気図、日本の天気	◎		○		
		地震、火山と火成岩			○		◎
地層、大地の変動		○	○	◎	○		
地球と人間	◎	○	◎	◎	◎		

※○選択問題のみ出題された単元。◎記述の問題が含まれる場合。但し必ずしも短文記述式ではなく、選択式以外ということ。

英語

年度		13	14	15	16	17	
平均点		50.0	57.7	63.5	A41.6 B57.1	A33.3 B50.8	
大問・小問数		5・42	5・45	5・43	A5・40 B5・39	A4・38 B4・36	
記述		(19)	(12)	(14)	(A19) (B31)	(A15) (B18)	
リスニング	対話または英文を聞いてその内容に合うように英文を完成させる問題				◎	◎	
	英文を聞いて質問に答える問題			○			
	対話を聞いてその場面にあう言い方を選ぶ問題			○	○		
	対話を聞いてその内容に合う絵や場面を選ぶ問題	○	○		○	○	
	絵を見てその内容について質問に答える問題					○	
	ある場面を説明した英文を聞いてその場面に合う言い方を選ぶ問題	○	○				
対話または英文を聞いてその内容について質問に答える問題		○	○	○		○	
読解	内容に 関する 設問	本文の内容と一致する文	○	○			○
		本文の題名	○				
	文法	代名詞や語句の内容	◎	◎		◎	◎
		内容理解	◎	◎	◎	◎	◎
		本文への適語・適文補充	○	◎	○	◎	○
		本文の内容に合うように適語・適文補充	◎	○	◎	◎	
		文の読み方			○		
		本文の要点把握(字数制限)					
文法	語形変化	◎			◎		
作文	語句・文の補充	◎	◎	◎	◎	◎	
	整序	◎	◎	◎	◎	◎	
	和文英訳	◎	◎	◎	◎	◎	
	自由作文	◎	◎	◎	◎	◎	

※○選択問題のみ出題されたもの。◎記述の問題が含まれたもの。但し必ずしも短文記述式ではなく、選択式以外ということ。

### 3. 作文・短文記述の指導例

年々増える記述式問題。中でも短文記述式の問題や作文は、差のつきやすいところ。ところが、学校のテストではたくさん出ないこともあり、書けない生徒さんも多いのです。白紙にするなんてもったいない！

#### ○ 国語の作文への対策

形式から教える（必ず点が取れる形式をまず教える）

- ・ 二段落構成
- ① 体験・エピソード
- ② 主張・考え
  - ※ ①は5～6割、②は4～5割の分量で。
- ・ 160字～200字ということは180字以上書く。  
9割以上というのが目安（1点は違うらしい）。
- ・ 最後の一文は抱負。  
「これからも私は～していきたい。」で締めるとすっきりする。
- ・ 常体・敬体の統一。

内容

- ・ ネガティブなことを書かない方がよい。文がうまくても点数が低くなることもある。

以上を守らせ、様々なテーマを与えて書かせる

#### ○ 社会の短文記述式への対策

- ・ まず暗記で解ける問題より詳しい知識が必要。なぜそうなのか（歴史なら）、という史実の因果関係をとらえることが不可欠。
- ・ よって教科書レベルの知識では不足。  
参考書（資料集）を用いた学習でなければ対応できない。  
※ オススメ「よくわかる」シリーズ（シグマベスト）など。
- ・ このシリーズには問題集編があり、ペアで使える。  
知識をinputする力、outputする力双方を育てる。要は数をこなす。
- ・ 歴史嫌いの子（地理嫌いより多い気がする）にはどう興味付けをするか？  
実践して最も効果があったのは歴史の裏話。  
まず「エ～ッ?!」という話から印象づける。

## ○ 時事問題への興味付け

- ・ これも裏話的なものからやると良いかも知れない。「こんな説もあるんだよ」「どの説が正しそう？」
- ・ 地震災害・地球環境問題  
自然現象と結びついて多少理科2分野的にする。学校では教えないような情報、実情のような事柄に反応する子は多い。
- ・ 興味を持たせてから新聞を読ませるようにしたい。  
いきなり読ませても興味が全くないとただの苦痛。
- ・ 教師側も常にニュースに興味を持ち頻りに話題を振る。休憩中に部活の話も良いが時事的な話で「エー？そうなんだ！」だと理想。

ご家庭へも「受験生1年間のニュースは出るかもしれません！」と伝えておくと、普段から話題にしてくださる事が多い。

## 4. <付録>受験生に知ってほしい傾向と対策

### ① 国語

#### ◇以前と変わらない点

基礎の国語力(読解力や漢字など)を重視すること。

理解力や表現力も必要であること。

#### ◆ここが難しかった、という点

第一問の、人物の気持ちを読み取り、表現させる問題が難しかった。

第五問の作文では「自らの体験を踏まえて」とは言われているが、構成には指示がない。でも、一段落目に体験、二段落目に考えを書くべき。

#### ☆どう対策するか

- (1) 表現力(書く力)大切。ワークなどの問題文の語尾が「どういうことですか」「なぜですか」「考えて書きなさい」など、抜き出し以外の問いも白紙にせず、とにかく書いてみよう。
- (2) 自分の答案と模範解答を見比べて、どう違うか考えてみる。内容の違いだけでなく、書き方の違いにも着目し、真似してみること。
- (3) 説明的文章は、筆者が結局何を言いたいのかを考えながら読もう。
- (4) 作文は文章がそんなに上手でなくても、高得点が狙える形式・ルールがあるので(p.14 参照)、そのルールを守って、いろいろなテーマで書いてみよう。

### ② 数学

#### ◇以前と変わらない点

昨年同様、第五問は選択問題だった。

一次関数や、証明を含む図形の問題は、独立した大問で出題された。

#### ◆ここが難しかった、という点

方程式の文章題で「解き方も書きなさい」という問題が出た。

作図やグラフを描かせる問題が出た。

選択問題では定理を使いながら順序良く考える力が試された。

#### ☆どう対策するか

- (1) 解き方を書かなければならない問題は、普段からきちんと途中式を書いているとできる。方程式なら「何を  $x$  とするのか」を書くのも忘れずに。
- (2) 図形の問題が出てきたら、初めから与えられている条件は、言われなくとも図に描き込む習慣をつけよう。自ずと解法が見えたり、作図もしやすくなる。
- (3) 方程式や関数の問題で式を立てるときも、問題文に従って図を描いてみるのが大切。その図の中に数値をどんどん書き入れていこう。

(4)身の周りの計算できそうなことから(例えば、距離・速さ・時間の関係など)を見つけて積極的に数に慣れよう。

### ③ 英語

#### ◇以前と変わらない点

「聴く」「話す」「読む」「書く」ということについて、理解・表現し、コミュニケーション能力を見る問題である点。

#### ◆ここが難しかった、という点

英作文の独立した大問はなくなったが、長文読解や対話文読解の中で英作文が出題された。話の続きや日記を作文させる問題で、読解ができていないと難しい。単語力を求められるリスニングだったという点。

#### ☆どう対策するか

- (1) まず英単語力が不足している場合は、単語帳を使って計画的に覚える作業を進めよう。書けるようになったかどうか時々チェックして、書けなかった単語を集中的にやろう。発音にも注意。
- (2) 読解は「誰が」に特に注意して読むこと。誰が言った言葉なのか常に意識して読んでいこう。単語力があれば大体の流れはとらえることができる。
- (3) 一つ一つの文の主語・動詞を見つけよう。
- (4) 作文は無理に難しい文法や単語を使わず、自信のある文法と単語で書くこと。簡単な文でも、ミスがなければ大丈夫。

### ④ 理科

#### ◇以前と変わらない点

色々な分野からバランスよく実験観察の問題が出た。  
教科書の内容に沿った基礎の問題が多かった。

#### ◆ここが難しかった、という点

記述の問題が増えたのに、全体の問題数も多かった。  
実験の図が、見慣れない形のものもあった。

#### ☆どう対策するか

- (1) 短文で記述させる問題は、理由を問うものが多い。実験の結果だけではなく、「なぜそうなるのか」をとらえよう。
- (2) 偏らないようにバランスよく色々な単元を学習しよう。
- (3) さまざまな実験が、何を調べるための実験なのか考えよう。
- (3) 実験の図を自分で描いてみよう。これが正しく描けるようになったら力がついてきた証拠だ。

## ⑤ 社会

### ◇以前と変わらない点

色々な資料をもとにして考えさせる問題が多かった。

記号を選ばせる問題より、書かせる問題のほうが多かった。

### ◆ここが難しかった、という点

短文で記述させる問題が増えた(14問も出た)。

考えさせる問題が多く、暗記だけでは答えられない問題が多かった。

### ☆どう対策するか

- (1) 教科書の内容を覚えるだけではダメ。資料集や参考書でもっと深く学ぶ。市販の問題集の分からないところも、資料集などで調べよう。教科書には載ってないこともある。
- (2) なぜそうなったのか、何が問題なのか、興味をもって考えてみよう。その辺りが問題になることは多い。
- (3) 日本地図、世界地図は頻繁に見て、県の名前や場所、さまざまな国の場所を知っておこう。
- (4) 今年度のニュースに注意。地震や自然災害、社会問題、政治の動き、生活など、来年の入試に出るのは今年の出来事に関係することだ。

## Ⅱ ご家庭から大切にされる先生とは

ご家庭から大切にされる先生になるためのカギとは、どんなことでしょうか。まずその前に、先生方に先日郵送した「授業の中での理念」に触れておきましょう。なぜここで理念？と思われる方もいらっしゃるでしょうが、実はこれがヒントになるのです。

### 授業の中での理念

アップルは先生方に、「学校」以上に内容の濃いサービスを会員様へ提供していただきたいと願っております。そこで「授業の中での理念」として、先生方と共に考え、理解を深めたいと思っております。

### おもい

生徒さんと保護者の方のおもい(ご希望など)を繊細に受け止め、迅速に叶えて差し上げること。

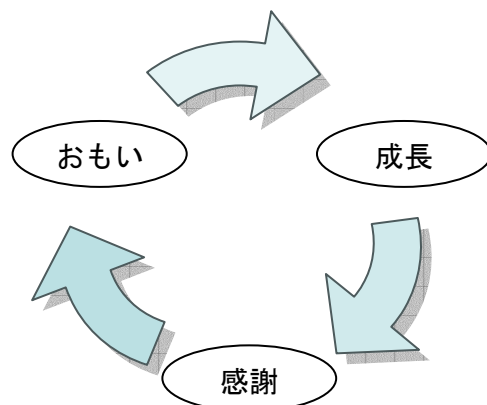
今までの「教師」のイメージではなく、サービスを提供させていただく謙虚さを忘れないこと。

### 成長

生徒さんと保護者の方の目標を達成するため、ベストなサービスを提供し、自らのスキルアップも目指すこと。

### 感謝

お金を頂く以上、プロとして、生徒さんと保護者の方に感謝し、その気持ちを笑顔や態度でしっかり示すこと。



「授業の中での理念」は「アップル企業理念」をもとに、実際に授業をされる先生方に関わる形に書き直したものです。よく見ていただくと、生徒さんと保護者の方のために、という姿勢が貫かれていることにお気づきかと思います。先生がご家庭を大切にすること、これがご家庭から先生が大切にされるカギではないでしょうか。

例えば、ちょっとした理由でご家庭から指導を当日キャンセルされてしまう。そんなことが続いたら、もしかするとご家庭は先生を大切に考えていらっやらないという可能性があるでしょう。そこで、先生側がそのご家庭をさらに大切にしてみると言うのはいかがでしょうか。

- ・ 大学生ではなくプロの家庭教師としての行動。例えばきちんと頭を下げて挨拶をする。きちんと靴をそろえる。時間はもちろん、小さな約束も守る。など、社会人としてのマナーの再確認。
- ・ コミュニケーションの徹底。指導の報告や宿題などは口頭だけでなく文書で残す。今後の展望、生徒さんの様子、気をつけてほしいことなど、細かい報告もすること。また、アップルへも指導報告書を提出する。

ここに挙げた例は当たり前のことですが、もう一度徹底を図るのもいいと思います。細かいコミュニケーションを取っているとご家庭のおもいや目標も見えやすくなります。するとそのおもいを叶えやすく、目標を達成しやすくなるでしょう。アップルへの報告もあれば、例えばアップルとご家庭が連絡を取り合う際、「〇〇先生は会社へもうちのことを話してくれている」と知って安心されるでしょう。

数多く存在する家庭教師の会社の中からアップルをお選び下さったご家庭は、先生にプロを求めているらっやいます。大学生にお願いするのではなくプロにお願いしているのだから、気持ちを分かって欲しいし、プロとして振る舞って欲しいし、目標達成に導いて欲しい。というご家庭は多いと思います。

そのおもいを叶えて差し上げることで、先生の存在がご家庭の中でかけがえのない大きなものになり、ご家庭は先生を大切にしてください。特殊なケースを除いて、当日キャンセルが続くこともなくなるかも知れません。もともとそんなトラブルがなかったとしても、きっとさらに良い関係が築けることでしょう。

**先生、ご家庭、アップルのより良い関係のために。皆さんのお考えをお聞かせ下さい。**